

この「社協コーナー」は共同募金の配分を受けて掲載しています。



あたたかい気持ちに感謝します

募金をお寄せいただいた皆さまありがとうございました



「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンとして、令和4年12月に地域歳末たすけあい募金運動を展開しました。
町民の皆さまや各種団体などからお寄せいただいた募金は、配分委員会で審議された結果、町内の生活困窮該当世帯(35世帯)に民生委員さんを通じて配分しました。

戸別募金	1,095,800円	各行政区(区長)に依頼
職域募金	34,000円	民生・児童委員協議会、役場職員など
個人募金	30,000円	個人

募金総額 1,159,800円 (令和5年2月1日現在)

地域歳末たすけあい募金運動

◎ひとり暮らし高齢者配食サービス ◎広報みさと「社協コーナー」作成
◎高齢者いきいきサロンの支援 ◎福祉・ボランティア教材整備 など

赤い羽根共同募金は「つながりをつなぐやさしい社会づくり」をテーマとして、令和4年10月から運動を展開しています。これまで、町民の皆さまや会社・事業所・学校などから多くの募金をお寄せいただきました。美里町社会福祉協議会では次のように活用させていただきます。

戸別募金	1,046,900円	各行政区(区長)に依頼
職域募金	434,500円	民生・児童委員協議会、役場職員、福祉施設・団体など
法人募金	193,996円	会社・事業所
街頭募金	21,974円	店舗・社会福祉協議会設置募金箱など
学校募金	14,738円	町内各小・中学校
個人募金	10,000円	個人

募金総額 1,722,108円 (令和5年2月1日現在)

赤い羽根共同募金運動

ひとり暮らし高齢者『にっこり交流会』

1月27日(金)に70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に「にっこり交流会」を開催し、29名が参加しました。

埼玉北部ヤクルト販売(株)の講師による「おなか元気教室」や、社協職員から消費者被害防止、食生活についてなどの講話を行いました。

徐々に顔を合わせた参加者同士で話も弾み、終始なごやかな雰囲気でした。



大沢小学校『高齢者疑似体験』

2月3日(金)に大沢小学校の4年生20名が高齢者疑似体験を行いました。

高齢者の視点に立つてもらうため、特殊眼鏡やヘッドフォン、手足に重りを装着して、段差や階段の昇り降りを体験してもらいました。また、手に重りを付けた状態で服の着脱も行いました。

この体験をとおして、地域のみんが幸せに暮らしていくためにどうしたらよいかなどを家庭でも話し合うきっかけにしたいと思います。



『災害ボランティア初心者セミナー』

2月4日(土)に美里町で災害が起こった際、災害支援活動できるボランティアを育成するための「災害ボランティア初心者セミナー」を開催し、14名が参加しました。

美里町の過去の災害状況や防災への取り組みや対策、被災地での体験談など災害ボランティアについて学びました。また、クロスロードゲームをとおして、被災地での行動について確認しました。

参加者からは、「ボランティアの役割の重要性を改めて感じた。」「自分でもボランティア出来る事が分かった。」などの声がありました。

今後もセミナーなどを実施し、もしもの時に備えて災害についての知識やボランティアの必要性などを地域に広めていきます。



ペットボトルキャップ収集ボランティア報告 (令和4年4月~令和5年1月分)

個数：200,380個 重量：466kg (ワクチン約46人分)

集まったペットボトルキャップは、回収業者がリサイクル原料として再資源化業者に売却した益金を認定NPO法人に寄付します。その寄付金が世界の子供たちへワクチンとして届けられています。今後もご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ボランティア活動保険更新のお知らせ



安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険の加入をおすすめしています。今年度の補償期間は令和5年3月31日までとなります。新年度(4月1日~)の加入希望者は手続きをお願いします。

令和5年度 年間保険料
(補償期間：令和5年4月1日~令和6年3月31日)

- ◆基本プラン 350円
- ◆天災・地震補償プラン 500円
- ◆特定感染症重点プラン 550円